

## 医学・医療論

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授		
担当講座・学科(分野)	看護専門基礎講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

看護専門職として健康や医療に関わる情報を適切に利用し、患者・支援者の意思決定を支援することができるように、医学・医療における現状や課題を学ぶとともに、情報の読み解き方（質の評価の方法）や問題解決を支援する情報の在り方について学修する。本科目では特に根拠に基づく医療（EBM）の考え方に基盤を置き、医学や健康に関する情報を鵜呑みにせず批判的に吟味する手法、情報リテラシーやヘルス・コミュニケーションの視点からさまざまな健康・医療の問題に向き合う方策について理解を深める。

### ・教育成果（アウトカム）

Evidence-Based Medicine（EBM）や臨床疫学の基本的な概念の理解を通して、看護実践の根拠として健康や医療に関わる情報を客観的・批判的に整理し、患者・支援者の意思決定を支援することができる看護職への導入基盤を形成する。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4

### ・到達目標（SBO）

1. 保健・医療における健康情報を評価する方法について説明できる。
2. 患者の問題を定式化することができる。
3. 臨床研究デザインの種類と、それぞれの長所と短所について説明できる
4. バイアス、交絡について説明できる。
5. 疾病の経過を定量的に解釈するために、リスクと予後の臨床疫学的概念について説明できる。
6. 診断法の選択や検査結果を解釈するにあたって、検査特性を用いた確率定量的な思考プロセスの概念を説明できる。
7. 患者と医療者の意思決定における EBM の意義、診療ガイドラインの役割について説明できる。
8. 患者と医療者の意思決定における Shared decision making（SDM）の意義について説明できる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/1	木	3	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>保健・医療における健康情報の評価について学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の3局面について説明できる</li> <li>・保健・医療における疫学の意義について概説できる</li> <li>・健康情報を評価する方法について説明できる</li> </ul>
9/8	木	3	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>患者の問題の定式化について学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問を、Patient、Exposure、Comparison、Outcome (PECO) の4要素に定式化できる</li> <li>・患者中心のアウトカム（患者立脚方アウトカム）について説明できる</li> </ul>
9/15	木	1	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>臨床研究デザインについて学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問 (PECO) のカテゴリーによって、その疑問を解決するために行われる研究方法が異なることを概説できる</li> <li>・臨床研究デザインの種類と、それぞれの長所と短所について説明できる。</li> <li>・バイアス、交絡について説明できる</li> </ul>

9/21	水	3	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>リスクと予後の臨床疫学的概念について学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクの概念、発生率と有病率の違いについて説明できる</li> <li>・比、割合、率について説明できる</li> <li>・リスク差（寄与危険度）とリスク比（相対危険度）について説明できる</li> <li>・絶対リスク減少と相対リスク減少について説明できる</li> </ul>
11/2	水	3	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>診断・スクリーニングの性能と解釈について学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当性と信頼性について説明できる</li> <li>・感度と特異度について説明できる</li> <li>・陽性的中率・陰性的中率について説明できる</li> </ul>
12/7	水	2	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>患者と医療者の意思決定におけるEBMの意義について理解を深める。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Evidence based medicine (EBM) の定義を説明できる</li> <li>・エビデンスレベルについて説明できる</li> <li>・診療ガイドラインについて概説できる</li> </ul>
12/8	木	1	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>情報の批判的吟味について学ぶ。 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の批判的吟味のプロセスを説明できる</li> <li>・情報を患者に適用する際に考慮すべきことを説明できる</li> <li>・治療に関する論文を批判的に吟味できる</li> </ul>

12/21	水	2	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	患者と医療者の意思決定における Shared decision making (SDM) の意義について学ぶ。 講義・ディスカッション  ・SDM について概説できる ・医療者が意識すべき患者の要因について説明できる ・医療における意思決定の特性について説明できる
-------	---	---	----------	----------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	健康・医療の情報を読み解く 健康情報学への招待 第2版	中山健夫	丸善出版	2014
参	医学と仮説：原因と結果の科学を 考える（岩波科学ライブラリー184）	津田敏秀	岩波書店	2011
参	宇宙怪人しまりす 医療統計を 学ぶ（岩波科学ライブラリー114）	佐藤俊哉	岩波書店	2005
推	メディア・バイアス：あやしい 健康情報とニセ科学	松永和紀	光文社	2007
推	臨床疫学：EBM 実践のための 必須知識 第3版	ロバート・H・フレッチャー、 スーザン・W・フレッチャー （福井次矢 訳）	メディカル・サイエンス・ インターナショナル	2016

・成績評価方法

定期試験で行われる筆記試験 100%にて到達度を判定する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

- 事前学修については、各回の授業内容および到達目標の内容に関し、参考書や推薦書等を用いて調べるものとし、各回最低 30 分以上を要する。適宜、講義の冒頭で事前学修内容の確認時間を設ける。
- 講義終了後はノートと参考書・配付資料等で復習し、知識と理解の定着に努めること。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

適宜、WebClass に演習問題と解説等を公開することにより、知識の定着と理解の促進を図る。

**【その他】**

各回の授業の中で、教員との意見交換等の機会を設ける。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影